

自主課題研究概要

工学部 情報システム工学科

3年 033 谷 直征

指導教員 木村春彦教授

□はじめに

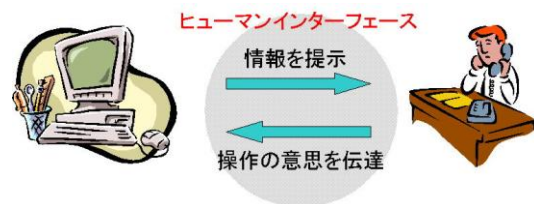
この研究では**人工知能**を主なテーマとして、調査中心の研究を行った。人工知能の様々な機能をおおまかに調査し、その特徴などを学んだ後に、機能の中から、興味を抱いた機能について、さらに調査を進めた。私は**ヒューマンインターフェース**について調査した。

□ヒューマンインターフェースとは

コンピュータと人とのコミュニケーション方法のこと。コンピュータは人に対して、情報をわかりやすく提示する役割であり、また、人が操作したい意思を思いのまま、コンピュータに伝達することができること。

□ヒューマンインターフェースの評価項目

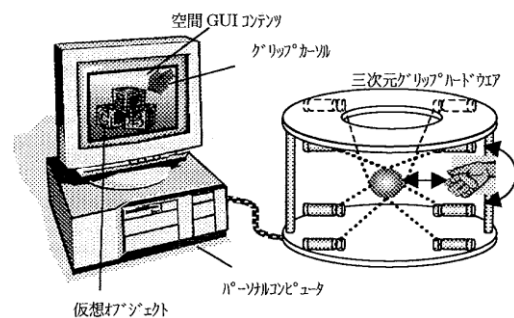
- ・直感的に操作方法が理解できる
- ・目的の操作が早く行える
- ・操作した内容を五感で確認できる
- ・誤操作を実行したときに被害が少ない



□様々な研究 “三次元グリップと VR 技術による空間 GUI システムの開発”

三次元グリップを用いてバーチャルリアリティで表示された仮想空間内の仮想物の移動、回転、把持操作を可能にするインターフェースファームウェアの開発。

東工大佐藤研究室での研究は、ユーザーの握るグリップを複数(4~8 本)のストリングで吊るし、その張力を制御する。移動や回転操作だけでなく、重量や粘性も感じることができる。



□参考文献・参考 URL

What's AI : <http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/whatsai/>

インターフェースデザイン : <http://contest.thinkquest.jp/tqj1998/10151/textver.html>

高齢者に優しいヒューマンインターフェース : <http://www.ce.pu-toyama.ac.jp/lab/human/human.htm>

ヒューマンインターフェース関連技術 : <http://www.ipa.go.jp/archive/NBP/Digital/human/>

株式会社野村総合研究所 : <http://www.nri.co.jp/news/2009/091120.html>